

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地			
日本電子専門学校		昭和51年9月10日	古賀 稔邦		〒169-8522 東京都新宿区百人町一丁目25番4号 (電話) 03-3363-7761			
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地			
学校法人電子学園		昭和38年12月17日	多 忠貴		〒169-8522 東京都新宿区百人町一丁目25番4号 (電話) 03-3363-7761			
目的	商用ホームページ(以下、Webサイト)の制作において、プロジェクトを円滑に進めるためのコミュニケーションが図れ、依頼者(以下、クライアント)の要望に応じたマーケティング・調査分析に基づく企画提案ができ、Web標準に準拠したマルチデバイスで利用者(以下、ユーザー)が心地よく閲覧できるWebサイトの表現や実装ができるWebクリエイターを育成する。							
分野	課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業	工業専門課程		Webデザイン科		平成19年文部科学大臣告示第20号		-	
修業年限	昼夜	総授業時数	講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	1740	360	420	960	0	0	
単位時間								
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数		総教員数
80人		50人		4人		8人		12人
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> ■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日 			成績評価		<ul style="list-style-type: none"> ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価基準は、90点以上を秀、80点以上90点未満を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可、59点以下を不可とする。 成績評価は、試験、平常の成績、成果物等により行う。 		
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> ■学年始め: 4月1日 ■夏季: 8月1日～9月10日 ■冬季: 12月21日～1月9日 ■春季: 3月21日～4月6日 ■学年末: 3月31日 			卒業・進級条件		<ul style="list-style-type: none"> ■卒業条件 学科の教育課程に定められた必修科目(選択必修科目を含む)のうち、卒業学年までに履修しなければならない科目を修得(成績評価が可以上)した者。卒業条件に該当しない者は、原級留置とする。 ■進級条件 学科の教育課程に定められた必修科目(選択必修科目を含む)のうち、当該学年までに履修しなければならない科目を修得(成績評価が可以上)した者。 		
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 電話・メール連絡、個人面談 自宅訪問、保護者連携			課外活動		<ul style="list-style-type: none"> ■課外活動の種類 各種技能大会、各種展示会見学、 作品発表展示会開催 学園祭、体育祭 		
<ul style="list-style-type: none"> ■サークル活動: 有 								

就職等の 状況	■主な就職先、業界等 ドワンゴ、ミツエーリンクス、メン バーズ、あとらす二十一、LIG等 Web制作会社、Web業界	主な資格・ 検定等	色彩検定 情報デザイン試験(J検)
	■就職率 ^{※1} : 100 %		
	■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100 %		
	■その他		
	(平成 27 年度卒業者に関する 平成28年5月1日 時点の情報)		
中途退学 の現状	■中途退学者 3 名 平成27年4月1日 在学者 52 名 (平成27年4月1日 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 49 名 (平成28年3月31日 卒業者を含む)	■中退率 5.8 %	
	■中途退学の主な理由 学習上の理由、健康上の理由		
	■中退防止のための取組 担任制、キャリアセンターサポート体制、新入生準備教育、学習目標設定・管理、個人 面談、保護者連携、出席管理、学生相談、カウンセリング、自宅訪問		
ホームページ	URL: http://www.jec.ac.jp		

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

クライアントの要求に応じた商用のWebサイトを制作できる実践的なWebクリエイターを育成するために、Web制作企業と連携して、下記①～③を踏まえて教育課程の編成、新たな科目の設定、既存科目の内容・教育手法の改善、教材の開発、Webクリエイターとして仕事をするために必要となる基礎力など、実践的かつ専門的な職業教育を協議・検討することを基本方針とする。

- ① Webクリエイターとして仕事をする上で必要となるWebサイト制作の技術力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、ディレクション能力を身につける方法を検討する。
- ② クライアントの要望を汲み取り、それを踏まえたシナリオの設定と説得力のある企画提案書を作る力を身に付けるために、最新のWebマーケティング手法やサイト設計方法を教育課程に導入する方法を模索する。
- ③ スマートフォンやタブレットなど最新のデバイスの動向を調査・分析し、「ユーザーにとっての価値」「心地よい操作性」の高いWeb標準に準拠したWebサイトを作れる知識、技術、技能を把握する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名前	所属
満岡 秀一	一般社団法人 Open Embedded Software Foundation
久山 和宣	株式会社ベースメントファクトリープロダクション
古賀 稔邦	日本電子専門学校 校長
杉浦 敦司	日本電子専門学校 教育部 部長
佐々木 卓美	日本電子専門学校 教務部 部長
船山 世界	日本電子専門学校 キャリアセンター センター長
小山内 靖美	日本電子専門学校 Webデザイン科 学科長

(開催日時)

第1回 平成27年9月18日 14:00～17:00 開催

第2回 平成28年3月 4日 14:00～17:00 開催

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

Web業界で活躍できるWebクリエイター育成のために、下記①～③を踏まえた実習を企業と連携して行い、Web業界に必要なディレクションやWeb制作技術などの実践的能力を養うことを基本方針とする。

- ① クライアントの要望をヒヤリングするためのオリエンテーションから企画・モックアップ(外観デザインの試作)・最終の各段階で企業へのプレゼンテーションを実施し、コミュニケーション能力の向上につなげる。
- ② クライアントの要望に応じた企画立案ができるように、授業と実習を通してWeb制作会社で行われているマーケティング・調査分析の仕方について実践的な知識を習得する。
- ③ Webサイトのユーザビリティ(使いやすさ)とアクセシビリティ(障害に関係なく誰でもアクセスできる)の評価として、地域の方や視覚障害者支援団体と連携して、学生が制作したWebサイトによる使用テストを行い、デザイン表現に関する問題点の把握、JISガイドラインに沿った効果的なWebサイト制作についての知識や技術を身につける。

科目名	科目概要	連携企業等
ユーザビリティ&アクセシビリティ	<p>ユーザビリティとアクセシビリティを考慮したWebサイト制作スキルを持ったWeb業界で活躍できる人材の育成を行うために、下記2つの企業課題にグループワークで取り組む。</p> <p>① ECサイトを運営する企業から既存サイトを使った課題が掲示され、ユーザビリティ評価手法を用いて既存のサイトの問題点を洗い出し改善提案を行う。</p> <p>② 最新のデバイスを使ったスマートフォンアプリを課題に、企画提案、企業からの指導を受けながら制作を行う。最終的に企業へのプレゼンテーションを行い、評価を受ける。課題テーマは「2020東京オリンピック&パラリンピックおもてなしのデザイン」</p>	<p>① 株式会社伊藤ハム</p> <p>② NPO法人日本地域活性化創出機構 株式会社フィールドノート</p>
進級制作	<p>Web制作企業から実案件(クライアントの要求)を元に課題が掲示され、企画提案・Webサイト制作・プレゼンテーションまでのWebワークフローを通して実務能力を学ぶ。企画・モックアップ、実装、最終にて企業プレゼンテーションを行い、企業から指導を受けながらWebサイト制作を行う。</p>	<p>株式会社スナップ 株式会社マーキュリー 株式会社アルカミクス総合研究所</p>
卒業制作	<p>2年間の集大成として、Webを商用で必要としている企業や店舗、学校などをクライアントとし、学生個々の制作ジャンル(Webサイト、スマートフォンアプリ、Webシステム、ゲーム等)に沿った作品を制作する。クライアントの要求に応じて、事前調査、コンセプトメイキング、企画書制作、ユーザビリティ評価、確認、納品、最終プレゼンなど、実践的なWebクリエイターとして、一連の制作工程を踏まえた制作を行う。</p>	<p>視覚障害者支援センターピアスペース</p>

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教育課程編成委員会での意見やWeb業界の動向等を踏まえて、現在教員に不足している知識、技術、技能及び、教授法や教育的資質に関する下記①～③等の研修を、研修規程に則って行う。これまでは、Web制作関連団体が行っている研修の受講が主であったが、将来はWeb制作会社や団体から講師を招いたものや教員がWeb制作企業内で制作業務を担当するなど、Webデザイン科独自の研修なども計画的に行う。

- ① スマートフォンやタブレットなどの活用も進み、今後も益々利用者のネット環境が多様化・複雑化しているなかで、ユーザーに最適なWebサイトを制作するのに必要な最新の知識、技術、技能に関する研修。
- ② より多くのユーザーへ情報を提供する「アクセシビリティ」、使いやすいサイトを提供する「ユーザビリティ」、さらに、多くのWeb制作会社が注目しているユーザーが体験を通して新しい価値を生み出す「ユーザエクスペリエンス」の必要性和、それらを向上するための知識、技術、技能に関する研修。
- ③ 変化する学生(気質)に対応し、学生の学習意欲を高めるような、キャリアサポートや体験学習(ファシリテーションスキル)等の教育的資質に関する研修。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
石本 則子	株式会社スタジオフェイク
井沢 祐	株式会社スタジオフェイク
内田 昌宏	株式会社 ラック
乗浜 誠二	株式会社 ナレッジコンスタント
舟山 大器	株式会社横浜環境デザイン
尹 剛志	株式会社++ (シット)
浅賀 央起	株式会社ぴえろ
川崎 紀弘	株式会社AZホールディングス
渡辺 登	株式会社アフレル
満岡 秀一	一般社団法人 Open Embedded Software Foundation
宮井 あゆみ	公益社団法人画像情報教育振興協会 (CG-ARTS協会)
中台 浩正	東京商工会議所 新宿支部
原 洋一	一般社団法人 コンピュータソフトウェア協会
米井 翔	一般社団法人 組込みシステム技術協会
長崎 晶彦	東京都立 荻窪高等学校
勝間田 清一	私立 明星学園高等学校
沼田 宏	株式会社インターカルト日本語学校
小澤 博太郎	百人町西町会
中山 秀昭	卒業生 株式会社 ヴァル研究所
谷 伸城	卒業生 株式会社アプリケーションプロダクト
二俣 久美	保護者
秋永 美穂	在校生
大宮 晃平	在校生
宜保 吉弥	在校生

(学校関係者評価結果の公表方法)

:URL:<http://www.jec.ac.jp/school-outline/disclose/occupation-practice.html>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

ホームページ、広報誌等の刊行物、その他(授業成果発表会、進級・卒業制作発表会、学科ニュース)

URL:<http://www.jec.ac.jp>

授業科目等の概要

(工業専門課程 Webデザイン学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			就職活動リテラシー	ワークシートやグループワークを利用した体験型学習で、楽しみながら就職活動の準備を行う。 ① キャリア（職業人生）を理解して就職活動の動機を得る。 ② ワークショップ形式で自己分析を行い、就職活動で実際に使えるツール（文章・台本）に仕上げる。 ③ 就職活動に必要な各種情報を得る。	1前	30		○			○			○	
○			企画書制作&プレゼンテーション	デザイナーにとってデザインの内容やコンセプトをクライアントに理解してもらうことは非常に重要であるため、目的に沿ったリサーチから発表までを通じ、企画書の作り方とコミュニケーション手段としてのプレゼンテーション手法を学ぶ。	1前	60		○			○			○	
○			Webデザイン基礎	Webサイトを作る上で必要なサイトの種類や特徴、サイト設計、情報整理、ページデザイン、画像と色彩、レイアウトなどの基本的なWebデザイン知識を学ぶ。	1前	30		○			○			○	
○			インタラクティブ入門	Webデザインにおけるインタラクティブなデザイン手法を理解し、実際のサイト制作で活用する。	1前	30					○	○		○	
○			HTML&CSS実習	W3C規格に準拠したHTMLコーディングを理解し、Webサイトを制作する。 Web標準実装の際に抑えておくべきポイントやノウハウ、サイト作成ソフトウェア（Dreamweaver）の活用テクニックを習得する。 （使用アプリケーション： Atom, SublimeText, Dreamweaver）	1前	120					○	○			○
○			色彩演習	ヴィジュアル表現における色の役割や色彩に関する基礎的な知識を身につけ、感情や状態を色で表す演習等を行う。色彩検定の取得を目指す。	1前	30		○				○			○
○			グラフィック実習	ペイント系ソフトウェア（Photoshop）の基本操作を習得し、フォトタッチやWeb画像素材の制作、Webページデザインの制作を行う。また、ドロー系ソフトウェア（illustrator）の基本操作を習得し、ベクトル画像の制作について習得する。 （使用アプリケーション： Photoshop, Illustrator）	1通	90						○	○		○

○		JavaScript&Ajax実習	ブラウザ側で動作するプログラミング言語であるJavaScriptを用いてプログラミングの基礎を学び、ページを動的に表現する演習を行う。 JavaScriptやAjaxを使ったWebページの作成方法や各種Web APIの活用方法について学ぶ。	1通	90				○	○	○		
○		イラストレーション	イラストを描く上での基礎的な画材や紙の扱いを学習し作品を制作する。さらに平面や立体など既成概念にとらわれない様々な技法を学び、オリジナリティーあふれる作品の制作を目指す。	1通	120			○	○	○			
○		Webデザイン発想法Ⅰ	Webデザイナーに必要な発想力を身につけるため、平面構成や動きの構成を学び、かたちの発想を導く実習を行う。自分でアイデアを生み出す力を身につける事を目標とする。	1後	60			○	○	○			
○		サイト設計	Webサイト構築のワークフローと、Webサイトを制作する過程でつくられる各種ドキュメントの作り方について演習を通して学ぶ。	1後	30		○		○	○			○
○		WebプログラミングⅠ	基本的なJavaScriptの書き方を学び、JavaScriptを使ったアニメーションやインタラクティブな表現を演習を通して学ぶ。	1後	30				○	○	○		
○		情報デザインⅠ	人間中心デザインの考え方に即したWebデザイン設計をワークショップ形式で学ぶ。人間中心設計の概念やプロセスを学び、人間中心デザインに関するさまざまな手法の理解と実践方法の修得を目指す。発想からコンセプトデザイン手法、コンセプトやユーザー評価の方法まで、体系的に、演習を通して実践的に学ぶ。	1後	90		○		△	○	○		
○		進級制作	連携しているWeb制作会社から実案件（クライアントの要求）を元に課題が提示され、オリエンテーションから企画、制作、プレゼンテーションまでの一連の流れを学習する。Webワークフローを通して、実務能力・技術力・表現力を身につける。	1後	120		△		○	○	○	○	○
○		Webデザイン発想法Ⅱ	Webデザインにおける快適なユーザーインターフェイスを実現するための発想力を身につける。基本的な動きや感覚などを表す言語を分析して再構築する演習を行なう。	2前	60			○	○	○			○
○		Webライティング技法	Web媒体を活用した伝わる文章を理解しライティングスキルの必要性を理解する。閲覧者にとって読みやすい文章、わかりやすい文章の書き方について演習を通して学び、人に伝わる文章を学習する。	2前	30			○	○	○			○
○		モバイルコンテンツ制作	スマートフォンやタブレットなど最新のデバイスに最適化されたサイト制作の技術を学ぶ。 HTML5ハイブリッドアプリ開発プラットフォーム「Monaca」を使用してWebアプリを制作する。	2前	90				○	○	○		○

○		情報デザインⅡ	①情報デザイン試験の取得を目指す。 ②インタフェースおよびインタラクションのデザイン手法について学ぶ。ユーザにとって使いやすいインタフェース、インタラクションを提供するためのデザイン手法として、主にアフォーダンスやメタファなどの可視化手法について学び、PCに留まらず、スマートフォン、やタブレットなど最新のデバイスのインタフェースデザインの提案を行う。	2 前	60	○	△	○	○				
○		ユーザビリティ&アクセシビリティ	ユーザビリティとアクセシビリティを考慮したWebサイト制作スキルを持ったWeb業界で活躍できる人材育成の育成を行うために、連携している企業の下記3つの課題をグループワークで取り組む。 ① ユーザビリティ評価手法を用いて既存のサイトの問題点を洗い出し改善提案を行う。 ② 視覚障害者支援団体の協力を受けて、Webアクセシビリティの現状と問題点の理解を深める。 ③ 最新のデバイスを使ったスマートフォンアプリを課題に制作を行う。	2 前	120	△	○	○	○	○			
○		WebプログラミングⅡ	サーバーサイドプログラムであるPHPプログラムをPCで動かすための環境を整え、掲示板等を作りながらPHPプログラミングについて学ぶ。同時にデータベース(MySQL)を使った実践的な課題を行う。 (Apatch, PHP, MySQL)	2 前	60			○	○	○			
○		卒業制作	2年間の集大成として、Webを商用で必要としている企業や店舗、学校などをクライアントとし、学生個々の制作ジャンル(Webサイト、スマートフォンアプリ、Webシステム、ゲーム等)に沿った作品を制作する。クライアントの要求に応じて、事前調査、コンセプトメイキング、企画書制作、ユーザビリティ評価、確認、納品、最終プレゼンなど、実践的なWebクリエイターとして、一連の制作工程を踏まえた制作を行う。	2 後	150	△	○	○	○	○			
○		写真撮影・映像演出技法	カメラの使い方、写真撮影に関する知識を学び、広報誌やWebサイトに使用される写真を撮影するための実践的なテクニックを学ぶ。	2 後	60		○	○	○	○			
○		関連法規	Webデザイナーに必要な法律知識を学ぶ。著作権をはじめとする知的所有権、個人情報法、刑法の業務妨害などについて、報道等で取り上げられた裁判の事例を交えて学ぶ。	2 後	30	○		○	○	○			
○		Webマーケティング	Webマーケティングを取り巻く外部環境・市場動向や、ソーシャルメディア連携などによるWebマーケティング、企業におけるソーシャルメディアの活用方法などWebサイトの戦略的なビジネス活用について学ぶ。	2 後	30	○		○	○	○			
○		Webディレクション	スケジュール管理、リソース管理、コスト管理、運用管理などを含めて成果を上げるディレクションの仕方について学ぶ。	2 後	30	○		○	○	○			

○		広告デザイン	印刷メディアの広告表現デザインや、CMなどの広告映像の表現、Webを使った広告表現など実際の広告具体例を見ながら広告の表現技術を学ぶ。	2 後	30		○			○				○
○		WebプログラミングⅢ	CMSツールWordPressをサーバーにインストールする方法から、サイト構築のやり方を実践的に学ぶ。また、CakePHPを使って簡単なオブジェクト指向スクリプト言語を習得する。	2 後	60				○	○			○	
合計					27科目		1740単位時間							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件 「可」以上 (留意事項)	試験、提出課題、平常点を加味した成績評価において、全ての科目で	1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	15 週

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。